



特定非営利活動法人えひめ盲ろう者友の会—会報

———— 2015・冬号 ————

2015年12月20日発行

～もくじ～

1. お花見交流会に参加して
2. お花見について
3. 感動の静岡（全国盲ろう者大会）
4. 中・四国大会（今治）に参加して
5. 第20回中・四国大会（今治）に携わって
6. 愛媛県視聴覚福祉センター文化祭（2014年）
7. 行事予定
8. 編集後記



1. お花見交流会に参加して

二宮 朋子

今年の4月12日(日)に総会の後、お花見交流会が行われました。例年までは、奥道後や道後公園でやっていましたが、今年は場所を変えて、ウェルピア伊予でありました。ウェルピア伊予への往復は送迎バスがあり、行きしは視聴覚センターから乗り、帰りは私はJR松山駅で降りました。

天気にもなんとか恵まれましたが、少し肌寒かったように思います。桜の花もほとんど散って少し残念でしたが、お弁当は三段重ねで、食べきれないほどでした。

今年のお花見交流会は、私にとって思い出深いものになりました。盲学校時代、6年間同じクラスだった渡部孝雄さんが友の会の交流会に初めて参加されました。私は前回のクラス会以来だったので、3年ぶりぐらいの再会で、総会の後、近況報告をしたりしてお話しました。それにも関わらず、これが最後の別れになるなんて思ってもいませんでした。渡部孝雄さんは、ガイドヘルパーさんと参加されていて、友の会の会員にも入って下さっていたようなので、これからは行事がある度にお会いできると思っていたのに、とても残念です。そんな事もあり、今年のお花見交流会は良い思い出です。

理事長の高橋さんが愛媛大学で博士号をいただいたそうで、ささやかなお祝いを中西さんの乾杯音頭で始まり、それぞれのグループでお弁当を食べながら、良い交流ができたのではないかと思います。

毎年なかなか、「ちょうど良い気温で桜も満開」という機会に恵まれません。来年もみんなと交流しながら、お花見ができれば良いなと思います。



2. お花見について

加藤 幸一郎

会場で用意されていたお弁当が非常に凝っていました。三段のお重にぎっしりと詰まった珍しいお料理。通訳介助者としては、本当は一品一品説明しながら食べてもらうべきなのですが、見ただけでは素材が判らない物も多く、盲ろう者と一緒になって、「これは何だ？」
「これは何だ？」と言いながら、食べるのを楽しんだのが印象的でした。



3. 感動の静岡（全国盲ろう者大会）

稲葉 哲也

もうあれから二ヶ月が過ぎようとしています。

7月31日から三日間、静岡県静岡市のツインメッセで開催された全国大会に、愛媛からは6名が参加しました。静岡というところは愛媛から行くには中途半端な地域にあって、いろいろ検討した結果、結局、羽田空港（東京）と松山空港を往復するコースを選択。とても暑い中、静岡を体験してまいりました（といっても愛媛も同じように暑かったかと思います）。



〈7月31日〉

松本さん・徳永さん・稲葉春樹、そして私の4人（高橋さんペアは前日出発）は、松山空港から午前9時40分発羽田行きの便に乗り、11時過ぎに到着。それから電車に乗り換え品川駅へ。新幹線

に乗るまでに時間があつたのでそこで昼食をとりました。ツインメッセについたのは15時ごろだったでしょうか。すでに開会セレモニーが行われており、私たちは静かに席に着きました。

そして待望の夜のパーティー会場に移動しましたが、事前に「一緒のテーブルに」と打ち合わせをしていたメンバーとは結局合流できず、岡山組とテーブルを囲みました。とにかくボランティアを合わせて1100人の大所帯。パーティーの参加者は800人ほどだったと聞きました。で、まずは腹ごしらえをしてから、早速あちらそちらと再会を祝し、また新しい出会いを求めて右往左往。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、ひとまずホテルに帰ってチェックイン。荷物を降ろして「いざ二次会へ」と繰り出しました。すぐ近くに予約していた居酒屋があり、神奈川や大阪・山口の人たちと盛り上がりました。とてもにぎやかなお店でしたが、話に夢中になり注文していた桜海老の刺身を食べ損ないました(がっくり)。翌日の朝は出発が早いということで早めに切り上げ(とはいえ11時ごろでしたかね)、ホテルに戻りました。

〈8月1日〉

朝一番にホテルの朝食を済ませて集合場所に出かけ、「富士山の観光コース」を選んでいた私たちはバス5台に分乗。私は1号車、春

樹は2号車に分かれて乗ることになりましたが、ほとんど知らない人たちばかり。しかしながら、持ち前の内気さで(笑)、愛知の人や、東京の人、山口の人、島根の人と、途中のパーキングエリアや富士山の5合目、白糸の滝などで交流することができました。



途中でバスに乗り込むとき、ポテトチップスとアルミ缶のお茶を渡されました。車中ではクイズやじゃんけんで楽しませてもらい、次第に標高が高くなるにつれポテトチップスの袋が膨らんで5合目近くになったらパンパンになり、スタッフが用意していた大きい袋は避けてしまいました。

さあ、いよいよ5合目到着。事前の案内状には「2400mの高さだから上着を準備」とありましたが、バスを降りてもぜんぜん寒くなく半袖のまま観光しました。残念ながら富士山はガスがかかってさっぱり見えず、後で聞いたところ冬以外はあまり見えないそうです。溶岩石を記念にもって帰ろうとしたら「ダメ」と言われがっくり（1個ぐらい持って帰っても富士山は崩れないのになあ）。少し登山道を登りましたが、割にゴツゴツとして上りにくく、私めはすぐに「下りようか」と戻りましたが、いろんな方に声をかけていただき、すがすがしい気分にはさせられましたよ。

そうしてバスに乗り込みいざ下山。少し曲がりくねった道を降りて行き、いよいよお弁当。仕切りと模様で富士山の形に彩られた、それはそれはとてもとても美味しいお弁当。「あー、ビールがほしい！」でしたよ。そしてさらに下っていくと、飲みかけのお茶の缶が「ポコッ」と音を立ててくぼみができ「うわあ、すごい！」と感動の瞬間を。

で、今度は「白糸の滝」に到着。まずは「音止めの滝」という、結構激しく水が落ちていき、虹がずーっとかかっている滝を見て、



写真：「白糸の滝」前にて4人で記念撮影♪

さらに下っていくと、今度は幅 200mほどの滝に糸が何十本も垂れ下がっているように見える白糸の滝に。近づけばマイナスイオンの水しぶきが霧雨のように降り注ぎ、真夏の中での涼しいひと時を過ごせてまたまた感動。そうして一路静岡駅に帰るのでした。

車中では山口県の池田会長（90プラス2歳だったかなあ）が代表して感想を話されました。「私もこの年になってまさか富士山に来られるとは思わなかったです。本当にいい思い出になりました。ありがとうございました。」としみじみ話され、ずっとガイドをしていたいただいた地元ボランティアの方が、それまでの準備の苦労もあったのでしょうか、思わず涙がこみ上げて「そんなに言ってもらって嬉しいです」と涙声。それを聞き、私も周りの方々ももらい泣き。車内がほんとにあったかーく感動感動ど感動。今でも思い出し、こうして書いていても涙がこぼれてきます（私も年とったのかなあ）。

その日の夜は結局、みんなの輪が広がって100人というグループになり、居酒屋を貸しきって食べたり飲んだり交流を深め、私の周りにも北海道・宮城・山口・群馬それから移動してたくさんの方々と巡り会うことができ、またまた感動でした。



〈8月2日〉

この日は清水市の「まぐろ館」に行っておまぐろ丼を食べたーいと予定していたのですが、池田さんが分科会でオカリナを演奏することをお聞きしたので、ぜひそれを聴こうと思い、予定変更。分科会会場横の物品販売を池田さんの順番を気にしながら周り、もうそろそろということで席席に座り演奏を聴きました。何曲か演奏されたのですが私の大好きな「アメイジング・グレイス」が演奏されたとき

は、「素晴らし過ぎ！すごいすごーい」と涙涙。その次は、前日同じバスに乗っておられた愛知の方で、確か弱視ろうの方だったと思いますが、目隠しをして板2枚を手ではなく足で割るという演技を見せてくれました。何度も何度も板の位置と高さや距離を確認していき「パン」と割れる音を聞いた瞬間衝撃が走り、ホッとしたのとまたまた感動感動。

今回の大会では本当にたくさんの人と出会い、他にもたくさんの感動がありました。盲ろうの娘さんの車椅子を押しながら道案内してくださった地元のお父さん。丁寧に宅急便の荷造りをしてくれた、宿泊したホテルのお姉さん。目が見えなくなって耳が聞こえなくなって落ち込んでいたこともあった。でもこうしてすばらしい通訳介助者にサポートしてもらいながらこんなにも感動をもらった。こんな幸せはない。私だけでなく愛媛の盲ろう者みんなに感じてもらいたい。まだこの会の存在すら知らない盲ろう者がたくさんいます。私はなんとしてもこの感動と幸せを分かち合いたい。そのためにもえひめ盲ろう者友の会の啓発に打ち込みたいと心を新たにしました。

大変長くなりましたが「いい加減にしろ」と編集長に怒られそうですので、これで大会報告とさせていただきます。皆さんお体ご自愛ください。ありがとうございます。ありがとうございました。



写真: 菅笠かぶって旅姿♪

☆☆☆ここからは、昨年度の行事になります☆☆☆

4. 中・四国大会（今治）に参加して

正岡 かおる

私は家族がいて子どもが小さくて、なかなか大会には参加することは難しくなりました。結婚する前は毎年のように全国大会、中四国大会に参加し、たくさんの盲ろう者と出会いました。愛媛大会がまわってきて、まさか今治とはびっくりしました。嬉しい気持ちもあり、準備等のお手伝いをしなければならぬと思いつつ、子どもたちの用事とかで重なってしまいました。どうなることやら、不安を抱えながらできる範囲でお手伝いしようと思いました。大会中、子どもを誰に預けるか問題になり、結局は子どもたちの希望で県外にいる両親にお願いしました。よく主人とケンカもしました。それを一人で悩んでももちろん限界になったら先輩ママに打ち明けたりなどなど、みんなから励ましの言葉をいただけて、私は恵まれているなって思いました。

大会当日、久しぶりに他県から盲ろう者のみなさんに会えるのが楽しみでした。嬉しい気持ちもあれば緊張もしていました。体験発表も人前で話すのも、何年ぶりなのか緊張して原稿を読めないほど手が震えてしまい、まあ覚えていることだけ言えばいいって思い原稿は適当に読んでいました。結婚する前までは、学校とかで盲ろう者について講師を引き受けていたのでなんともなかったのですが、人前で発表するのは本当に久しぶりでした。私の発表を聞いてくださったみなさんから、とても良かったって言っていただき、本当にホッとしました。山口の友の会の皆さんと久々の再会で喜び「子どもたちは？」と聞かれたりなどお話ができ気分転換になりました。

二日目の観光は、私は今治に住んでいるのに観光なんてしたことがあり

ませんでした。結婚して今治に来て、「今治を観光したい」って言いたくても、ヘルパー事業所の条件がそれぞれあって、遊びはいかんって言われたような感じでした。タオル美術館・今治城を観光できて良かったと思っています。ただタオル美術館は触れるものと触れないものもありました。でもおみやげ広場に行くと、いろんな名物を試食ができて良かったです。お昼ごはんの焼き豚玉子飯は、スーパーで買って食べた時よりも量が多くてビックリしました。食べても食べてもまだあるので、量が多かったです。私、久しぶりに何かしたり、お出かけしたりすると雨が降るので、二日間お天気が良かったし暖かかったので、雨が降らなくて良かったです。

実行委員として、ほんの少ししかお手伝いができず、申し訳ありません。他の実行委員の皆さん、あちこち動き回り準備等たいへんお疲れさまでした。無事に大会が終わり、ホッとしています。

5. 第20回中・四国盲ろう者大会（今治）に携わって

柳井 紀子

今回の大会では事務局を担当しました。あまりパソコンは得意ではないので、正直事務作業は想像以上に大変でした。でも、出来ない所は他の方に協力してもらいながら無事終わることができ、大変感謝しています。

次回また何年か後に開催されると思いますが、もっと仲間を増やしてより皆で協力し合える大会になるように活動が出来たらと思います。大会に携わった皆さん、本当にお疲れ様でした。

6. 愛媛県視聴覚福祉センター文化祭（2014年）

矢野 佳子

11月23日に行われた、愛媛県視聴覚福祉センター文化祭のバザーに参加しました。お天気も良く、大勢のお客様が来てくださいました。

佐々木さんのビーズ作品も座布団も色鮮やかで人目を引き、特に座布団は、急な冷え込みのためかよく売れました。多くの作品を制作して下さった佐々木さん、本当にお疲れさまでした。売り子さんの盲ろう者は、商品の陳列や包装、呼び込み、最後の片付けまでがんばってくださいました。

意外な功労者は高橋さんの盲導犬フォリイで、子どもたちに大人気。まるで盲導犬ふれあいコーナーのようでした。

楽しい時間はあっという間に流れ、片付けのときは少し寂しく感じました。また来年もバザーに参加できればと、今から楽しみにしています。皆さん、お疲れさまでした。

7. 行事予定

① ボウリング大会&懇親会

日程：2016年1月31日（日）

場所：キスケボウル（懇親会未定）

② 第25回全国盲ろう者大会

日程：2016年8月19日（金）～8月22日（月）

場所：福岡県北九州市

8. 編集後記

もうろうの木 編集長 稲葉 春樹

師走の忙しさの中、寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2015年もあっという間にあと数日。今年を振り返ると、友の会ではいろいろな行事が行われましたね。

4月には恒例の総会&お花見。6～7月には盲ろう通訳・ガイドヘルパー養成研修会を開催し、5名の受講生が無事修了されました。7月5日(日)には、松山市総合福祉センターにて梅木ご夫妻講演会を開催し、参加者100名という大盛況に終わりました。お二人とも明るい方で、笑いあり涙ありの素晴らしい講演でした。ご協力くださったスタッフの皆さん、ありがとうございました。

夏には全国盲ろう者大会(静岡)で、私も全国の盲ろう者と交流することができました。9月のピクニック旅行では、レオマワールド(香川)へのバスツアー。美味しく楽しく過ごすことができました。

これからも友の会の行事は続きますので、皆さん、どんどん参加して交流をしましょうね。

最後になりましたが、まだまだ寒い日が続きますので、どうか体調に気をつけてお過ごしください。また交流会等でお会いできることを楽しみにしております。「もうろうの木」原稿のご協力もお願いいたします。

特定非営利活動法人 えひめ盲ろう者友の会

〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台 594-5

TEL 090-7780-8404 FAX 089-958-8836

E-mail tomonikai@db-tarzan.no-ip.info

URL <http://www.db-tarzan.no-ip.info/tomonikai/>

編集責任者 稲葉 春樹 発行責任者 高橋 信行

